

## 市立小中学校の規模適正化・適正配置に関する説明会概要（蓮沼小学校）

期 日：平成 27 年 7 月 17 日 19 時 00 分～20 時 25 分

場 所：蓮沼小学校体育館 2 階 会議室

参加者：蓮沼小学校保護者 49 名、校長・教頭・その他教諭 12 名

### 【意見内容と回答】

#### ◎男性

小規模校の問題解決に努めるとあるが、小学校・中学校は分けて考えているととらえていいか。

#### ○教育総務課長

中学校は学校運営に影響が出ているため、優先的に行う。小学校は複式の解消を優先する。それ以外の学校については、本来であれば規模の適正化を図りたいが、現時点ではそのまま存続し、小規模の課題については補完的な措置を検討する。

#### ◎男性

小規模校も小学校に関しては認めるということでもいいか。我々の最後の灯火であり、消えてしまうと先真っ暗になってしまう。そういつてもらえると非常にありがたい。

#### ◎女性

蓮沼という地域の中で蓮沼小の子ども達を蓮沼の地に根付かせてもらいたい。学校できめ細やかに面倒を見てもらっている。小学校のうちに蓮沼の地にしっかりと根付かせれば、中学・高校・大学へ進学、就職しても倒れることはない。蓮沼には蓮沼の小学校が必要。殿台地区は若い人たちがいない時があり、今は若い人たちが戻ってきて、小さな子ども達が家の周りにたくさんいる。地域に根付けば、若い人たちが帰ってくる可能性がある。若い人たちを蓮沼に呼びたいという風になったとき、近くに小学校がないと若い人たちは来ない。遠くに行かせたり、スクールバスを使用するようになったら、そういうところに行かせようと思う親はいない。歩ける範囲に小学校がある方がいい。単学級だと色々な事業を展開できないという話もあったが、単学級の中でもやり方次第で色々な方法をとることができると思う。蓮沼地区には蓮沼小学校が必要だと思う。中学校はやむを得ないと思うが、将来のためにも学校を残してもらいたい。そうしないと老人だけの蓮沼になってしまう。

#### ○教育総務課長

今回の方針の中で、蓮沼小学校については当面そのまま存続する。市で色々な取り組みも始めているが、全国的に出生率は下がっており、人口を維持できる数字ではない。今後、複式になっても学校を維持していった方がいいと思っているのか、それとも複式が見込まれる状況になったら統合はやむを得ないと思っているのかを伺いたい。

#### ◎男性

学級数については特に考えていない。まず、市が子ども達を増やすためにどのようなことを行っているかまず聞きたい。3 人目以降の子どもが生まれたら補助するとか、市外から市内へ転入してきた若い世帯にはアパートの家賃補助とか、そういうことをやっている自治体はたくさんある。人口確保が大事である。そうすれば、山武市で子育てをしようとする人が増える。そういうことを考えずに統廃合あり

きでというのは疑問である。仮に蓮沼と大平の間に学校を作れば費用がかかる。市内の他の学校も同様。病院の建設の話も聞く。もっと小さいお金で初めていくことが、子ども達の減少をとめる第一歩ではないか。そういうことを考えないと、ここに集まってきた人は地元の見解を聴いたという言い訳になってしまう。行政と市民のつながった関係で市が出来ていく。まず、お金をかけないところから始めるのが筋だと思う。

#### ○教育総務課長

限られた財源の中で出来ることとして、複式の解消やそれ以外の学校については当面の存続を考えた。「まち・ひと・しごと」という地方創生の取り組みを色々やっている最中なので、人口の推移を見ていくことが必要だと思う。教育委員会としての範囲は狭く、人口増につながることをすぐに言うことは出来ないが、出来る範囲の中で進めている。

#### ◎男性

複式学級になれば統廃合もやむを得ないというのは個人的には思っているが、その世代の保護者が考えることなのではないか。自分は意見できない。地域の人が一体となって子どもを育てているという機会をもっと増やすべきではないか。そうすれば一度家を出ても戻ってきたいと思える環境ができる。地域にお世話になったという意識があれば、郷土愛がもっと出てくる。教育委員会に押し付けるだけでなく、PTAとかも協力してほしい。近所の方に教わったとなれば、子ども達も覚えている。そういったことの積み重ねが大事。

#### ○教育総務課長

今後活かしていきたい。

#### ◎女性

自分は子どもが4人いるが、保護者を見ると地元率が高い。子ども達そのまま地元に住みたいと思ってもらえれば人口増につながると思う。子ども達の代に学校がそばにあるというのは、新しく家を建てる世代には重要であると思う。蓮沼と大平の間に学校できると、人口が集中する場所が上にシフトしてしまう。地域に協力してもらい4人育てられた。地域に助けてもらえなければ4人育てられなかったかもしれない。3人いるのが当たり前のような地域でもあるので、今いる子ども達が地元に残ってくれたら、人口減少に歯止めをかけてくれる可能性を山武市の中で一番持っている地域だと思っている。学校が移動してしまうことにより、変わってきてしまうと思うので、先ほど、どれほど減ったら統廃合を考えますかという質問されたが、反対に学校を残したいという意思を通したら、どのくらいのスパンで結果が出るまで待ってもらえるのか。今、減っているかもしれないが、増える可能性を秘めているものを、今統廃合を進めてしまったら、増える可能性も少なくなる。蓮沼小学校がなくなってしまうと、旧町村の名前がなくなってしまう。蓮沼という名前が全国的に有名になっているので、蓮沼小学校という名前を残してもらいたい。今の状況では、地域に支えられて安心して学校に通っているので、その状況を出来るだけ長く続けていってほしい。地元で頑張っていきたいと考えている。

#### ○教育総務課長

こういう機会に意見交換をしながら、市の考えをお伝えし、地元・保護者の意見を聴きながら何が一番いいのかの検討を続けていくことが重要だと考える。手を施さない状況まで何もしないことが一番まずいことなので、話し合いを進めていければと思っている。地域で子ども達を育てていく取り組みは今

後も続けてもらいたい。

◎男性

蓮沼地区と大平地区の間に学校を新設するという案はまだ消えていないということですか。

○教育総務課長

消えているということではないが、まだ判断していない状況。概算の金額はつかんでいるが、財政状況や市の取り組みの中で可能性を検討している。

◎男性

合併特例債を使用できるとしても、蓮沼から学校がなくなってしまうと、地域のコミュニティが壊れてしまう。中間地点に学校を建てるとか無駄なことはしないほしい。おそらく皆反対だと思う。これから先の子ども達に負担をかけるわけにはいかない。複式学級について、フィンランドとか教育先進国で行っていて、教育的に非常にレベルが高い国がある。それには教育の指導力とかもあるかと思うが、例えば複式学級になったとして、教員の指導力を向上させるための努力とかカリキュラムとかの考えはあるか。

○学校教育課長

複式学級については、市内に行っている学校があるので、どういった運用がいいのかのアドバイスはもらっている。少人数の指導講師を市で雇用して授業を行っている。

◎男性

日本ではなくて他で成功している国もある。そこからの検証などはないのか。

○学校教育課長

参考にしていく。

◎男性

複式を推奨している訳ではないが、他にも成功例があるのでそこら辺を考えていくことはないか。国内だけということか。

○学校教育課長

参考にしてるのは国内だけ。

◎男性

学力調査を見ると、全国・県平均より低い傾向にあるが、どの位低いのか。児童・生徒・教職員が多様な個性や特性に触れることで、向上心や競争心が培われる。主体的に学習することで、生きる力を育むことにつながるとあるが、人数が多い方が競争力や向上心がつくので、学力があがるということか。

○学校教育課長

学力調査について正確な数字はもっていないが、素点で3点~4点低い。

◎男性

人数が多い方が、競争力や向上心の高まり良い学習環境になると書いてあるが、平均より低いことについて、どのように考えているのか。環境が影響しているのか。それとも他の要因があるのか。

○学校教育課長

教える側の課題の一つと考えている。子ども達が勉強したくなるような方策がないかと。頑張った部

分が実感できるような心の変化は、少人数と大人数を比較した場合、大人数の中の方が大きい。

◎男性

学習環境の差を埋めることは可能だと考えているか。都会との差を埋める努力を具体的に説明してもらいたい。

○学校教育課長

少人数指導等の講師の派遣や、職員の研修の充実を図る。

◎男性

自分の子どもが通わせていた幼稚園は、論語とか素読を熱心にやっていた。今の時代に必要ではないかと思う。地域の人材を活用してみてもいいのではないか。

○学校教育課長

学校と検討しながら、積極的に進めていきたい。

◎男性

就学指定校変更について好きなところを選べるように市で案内をしているのか。私は生まれも育ちも蓮沼で、未だに蓮沼は何でもまとまりがあると言われる。蓮沼という名前は残してもらいたい。また、細やかな説明会を今後開催してってもらいたい。

○学校教育課長

通学する学校については、どこに住んでいるかにより定めている。居住地により学区が決まっている。

◎男性

教育委員会は統廃合ありきで動いているのか。それとも統廃合をしなくてもいいように住民の意見を聴き、もしくはまちづくり協議会等と横の連携をとって、移住者を増やすようなことも含めた立ち位置でものを考えているのか。統廃合ありきで動かれたらこの説明会の意味がない。児童・住民を増やすことを考えたうえでの説明会でなければ。

○教育総務課長

今回この案を示させていただいたのは、将来的に人口が減っていく中で望ましい規模というのはこのような形であるというたたき台である。地域の意見を伺いながら意見交換をしていく。何も案を出さずにどうしようかという話は教育委員会において無責任である。国や他団体を参考にしながら一定の案を示している。それに対して地域、保護者の意見を伺いながらいい方向に進んでいければと思っている。教育委員会が強制的にやるということはない。他の地域では統廃合を早く進めて欲しいという意見があるところもある。市全体を考えた案を皆さんに図り、意見を聴きながら進めていくという形で動いている。統廃合ありきで進んでいる訳ではない。

◎男性

計画準備期間が4~5年とあるが、その間に統廃合が決定されるということなのか。その前に統廃合を決定してからになるのか。

○教育総務課長

準備期間を書いたのは、県との調整などが最低でも3年かかるということで、その前の準備も含める

と4～5年かかるということである。

◎男性

学校を作るということになったとき、その時点で決まるということか。

○教育総務課長

もし、統合について了承が得られたとなればその形になる。

◎男性

学校を中間に作るというメリットはなにか。

○教育総務課長

蓮沼の方については、津波のエリアから抜けることができるかもしれない。

◎男性

合併特例債が10年延びたこともわかるが、学校の新設はやめてもらいたいというのが皆さんの意見。夕張のように破たんしてしまったら集めるということも分かるが。

○教育総務課長

色々なパターンを考えながら、最終的にどのような形にしたらいいのか考えている中での一案である。無理やり学校を新設するつもりはないが、トータルで考えていただければと思う。